

《担当者名》教授 / 川上 智史 kawakami@ 教授 / 越野 寿 koshino@ 教授 / 山田 律子 rich@
 客員教授 / 木下 憲治 客員教授 / 大原 裕介

【概要】

医療人として国民の生活の質(QOL)の向上に貢献するために、種々の障がいをもつ者の身体的、精神的及び心理的特徴を理解したうえで、医療と保健と福祉を連携統合する歯科医療の有りかたを系統的に習得する。

【学修目標】

- 高齢社会における歯科医療の現状と将来展望について説明する。
- 介護保険制度における歯科医師の関わりと役割について説明する。
- 要介護高齢者の口腔ケアについて説明する。
- 介護保険における介護予防、地域支援事業、口腔機能向上について説明する。
- 健康の保持・増進における口腔機能の意義を説明する。
- 認知症高齢者の食支援における多職種協働と歯科医療の役割について説明する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	歯科医療と保健・福祉 1	高齢社会における歯科医療の現状と将来展望について	川上 智史
2	歯科医療と保健・福祉 2	介護保険制度における歯科医師の関わりと役割について 要介護高齢者の口腔ケアについて	川上 智史
3	高齢社会における介護保険と歯科医療	介護保険における介護予防 介護保険における「地域支援事業」と「予防給付」 介護保険における「口腔機能向上」 この講義は、障害者歯科、高齢者歯科の木下担当の講義と関連している。	木下 憲治
4	現場における多職種連携の可能性	NPO法人ゆうゆうの活動を通じた地域医療・福祉の実践から、多職種連携のあり方を学ぶ。	大原 裕介
5	災害時に果たす歯科医療の役割	災害発生時の歯科支援活動としては、歯を利用した検屍活動と生存者に対する歯科医療活動があげられる。被災者の食生活や全身の健康状態の確保に大きく関わる歯科的な問題点を考察し、被災者に対する歯科支援活動のあり方について学ぶ。	越野 寿
6	認知症高齢者の食支援と歯科医療	認知症高齢者の食支援における多職種協働の重要性と実際について学んだうえで、歯科医療の役割について考える。	山田 律子
7	要介護高齢者への歯科的対応	全身の健康と口腔の健康の関連について	越野 寿

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験(100%)

【教科書】

その都度プリントを配付する。

【参考書】

- ・ 植松 宏 ほか 監修 高齢者歯科ガイドブック 医歯薬出版 2003年 ¥7,000
- ・ 渡辺 誠 監修 高齢者歯科学 永末書店 2000年 ¥9,000

【学修の準備】

予習として、高齢者歯科ガイドブックの当該部分を読む。(30分)

復習として、講義中に疑問であった点をまとめる。(30分)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1.人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を修得し、福祉的観点からの歯科医療を学修する(専門的実践能力)。

DP2.「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけるために、福祉的観点からの学修を行う(プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力)。

DP4.多職種(保健・医療・福祉)と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践するために、福祉的観点からの学修を行う(多職種が連携するチーム医療)。

DP5.歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力を身につけるために、福祉的観点からの地域密着型の医療を学修する(社会的貢献)。

【実務経験】

川上智史(歯科医師)、越野 寿(歯科医師)、木下憲治(歯科医師)、山田律子(看護師)、大原裕介(社会福祉士)

【実務経験を活かした教育内容】

歯科医師は、歯科医療において特に福祉的観点からの対応が必要となる状況や対応についての講義を担当する。

看護師は、歯科医療現場で必要となる看護的観点からの講義を担当する。

社会福祉士は、歯科医療現場で必要となる福祉的観点からの講義を担当する。